

私は、昭和 48 年に旭川市で生まれ、小・中・高・社会人生活と、ずっと今まで旭川で過ごしてきました。特に就職に関しましては、土質もよく判らず今の会社に入りましたが、入社してからは「土質及び基礎」に関する業務に関わり、ふと気づけばもう 25 年にもなります。

資格試験では、入社 4 年目頃から仕事上必要と考える資格をコツコツと受験をしてきましたが、毎回なかなか一発で合格しないため、就職してから昨年まで、毎年のように何らかの試験を受けてきた気が致します…。その中でも一番大変だったのは、やはり「技術士 2 次試験」が断トツでありまして、願書を出した回数も最多となりました。択一の答え合わせによる試験一週間後の不合格、筆記試験結果による 10 月下旬での不合格、口頭試験結果による 3 月初旬での不合格、精神的には、どれもかなり堪えました……が！ 諦めずに翌春には願書を出し続けました。なお、何とか合格出来たのは、多くの方々から、ご指導を頂けたことからと思っております。ご指導して下さった方々には、本当に感謝の気持ちで一杯です。現在は妻と幼稚園児の長女、口癖が何故？か「ゴリラ」の息子と 4 人で暮らしておりますが、仕事が忙しくなってくると、平日は子供とあまり遊べないのが寂しい悩みであります。今後は、この業界ももっと、ワークライフバランスを保てるようになることを願っておりますが、その間に子供が成長して僕と遊んでくれなくなりそうかな？…と考える日々でございます。また最近では、弊社もフレッシュ感にあふれた新人が増えてきましたので、少しでも若い人が会社に根付いてくれるよう、自分も精進して頑張っていこうと思っております。

桑田 英樹 (くわた ひでき)

●建設部門(土質及び基礎)

勤務先

大地コンサルタント株式会社
旭川本社 地質部



→次号は、武田旨弘さん(建設、環境、総監)

私は美唄市の長閑な田園地帯に生まれ育ちました。私の家は農家で、美唄川沿いの泥炭性軟弱地盤が広がる低平地に位置します。私が中学生の頃、昭和 50 年洪水があり、床上浸水を経験しました。さらに、私は大学生で札幌にいましたが、昭和 56 年洪水でも実家は大きな被害を受けました。

大学では土木工学を専攻し、橋梁研究室出身ですが、札幌の建設コンサルタントに就職して配属されたのは地質部の土質グループでした。若い頃は河川や道路、空港、都市関連等、様々な分野について、土質調査や地下水調査、軟弱地盤解析等の業務を経験しました。その後、河川堤防などの河川関連業務を主体に担当するようになり、20 年ほど前に土質及び基礎で技術士を取得しました。そのまま、北海道で技術者人生を全うするものと思っておりましたが、田舎育ちの私が 40 台も半ばを過ぎて東京勤務となり、業務内容も営業や支店の管理が主体で、技術からは離れることになりました。

東京では、大手同業他社など様々な方とお付き合いさせて頂き、多少のアウェイ感はありませんでしたが、北海道と変わらず楽しく過ごすことができました。また、クールビズの徹底もあり暑さもさほど気にならず、満員電車と交通渋滞を除けば意外と快適で、私や家族にとって貴重な経験でした。

2 年前に 10 年ぶりに北海道へ戻ってきましたが、配属先は水工事業本部で、帰ってきた途端に大洪水が発生するなど、私の生い立ちを考えれば土質や河川に係わることは必然だったのかもしれませんが、10 年近く東京に居たせいか、年を取ったせいか、北海道の寒さが身に凍みるこの頃です。できることは限られますが、もう少し技術者として何某かの貢献ができればと思っております。

田中 信幸 (たなか のぶゆき)

●建設部門/総合技術監理部門

勤務先

株式会社ドーコン



→次号は、寿楽和也さん(建設部門)